



# 第50期 報告書

平成22年1月1日から平成22年12月31日まで



大和冷機工業株式会社  
<http://www.drk.co.jp>

証券コード 6459

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察いたします。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第50期（平成22年1月1日から平成22年12月31日まで）の報告書をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月30日



## 事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の改善や政府による各種の経済対策の効果などを背景に、一部に景気持ち直しの兆しがみられるものの、円高の進行、デフレの長期化、また、失業率の高止まりにより、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、主要取引業種の外食産業にあつては、節約志向や購買意欲の停滞等から消費者の外食を控える傾向は依然として強く、また、食品業界や一般小売業等にあつても、低価格競争が続くなど、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況のなかで、当社グループは、競争優位性を高めるべく、コスト競争力の強化、営業体制の強化を推進しつつ、既存顧客との相互信頼関係の構築、新規顧客の開拓、サービス体制の充実に取り組み、業績の維持向上に努めてまいりました。

また、昨年末に自社製品として発表した、省エネ・省スペースで使い易さを追求した業務用食器洗浄機やコールドテーブルでは業界初となるインバータ化したノンピラータイプ4機種を投入するなど積極的な市場展開を図ってまいりました。

しかしながら、当連結会計年度の業績につきましては、厳しい経済環境の影響等により、売上高281億7千5百万円（前期比3.4%減）、営業利益52億8千2百万円（前期比20.9%減）、経常利益53億7千3百万円（前期比20.1%減）、当期純利益35億1千8百万円（前期比27.7%減）となりました。

部門別の状況は次のとおりであります。

製品の売上高は、前期比4.1%増の171億3千7百万円であり、総売上高に対する構成比は60.8%となっております。

なお、主な製品は、厨房用縦型冷凍冷蔵庫、店舗用縦型ショーケース、横型冷凍冷蔵庫、製氷機であります。

商品の売上高は、前期比7.4%増の41億1千9百万円であり、総売上高に対する構成比は14.6%となっております。

なお、主な商品は、店舗設備機器、厨房設備機器、店舗設備工事であります。

また、点検・修理の売上高は、前期比0.2%増の28億5千6百万円、その構成比は10.1%、リース料収入等は、前期比32.5%減の40億6千1百万円、その構成比は14.4%となっております。

一方、当社の単独業績につきましては、売上高241億1千5百万円（前期比4.1%増）、営業利益29億9千6百万円（前期比18.4%増）、経常利益31億2千3百万円（前期比16.3%増）、当期純利益10億6千5百万円（前期比3.1%減）となりました。

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
期 別	当 期	前 期	期 別	当 期	前 期
科 目	平成22年12月31日現在	平成21年12月31日現在	科 目	平成22年12月31日現在	平成21年12月31日現在
<b>流 動 資 産</b>	35,575	32,663	<b>流 動 負 債</b>	5,417	4,952
現金及び預金	30,073	25,548	支払手形及び買掛金	2,348	1,975
受取手形及び売掛金	2,498	3,057	未 払 金	597	503
リース投資資産	584	1,759	未払法人税等	791	874
商品及び製品	884	885	賞与引当金	127	117
仕 掛 品	222	217	役員賞与引当金	19	15
原材料及び貯蔵品	266	241	製品保証引当金	119	121
点検修理用部品	231	248	その他の流動負債	1,413	1,344
繰延税金資産	226	225	<b>固 定 負 債</b>	2,085	2,041
その他の流動資産	610	535	退職給付引当金	1,089	1,072
貸倒引当金	△ 22	△ 56	役員退職慰労引当金	980	943
<b>固 定 資 産</b>	11,287	10,687	その他の固定負債	15	25
<b>有 形 固 定 資 産</b>	7,776	8,152	<b>負 債 合 計</b>	7,503	6,994
建物及び構築物	3,462	3,722	<b>純 資 産 の 部</b>		
機械装置及び運搬具	541	756	<b>株 主 資 本</b>	39,353	36,352
土 地	3,633	3,473	資 本 金	9,907	9,907
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	138	199	資 本 剩 余 金	9,867	9,867
<b>無 形 固 定 資 産</b>	76	102	利 益 剩 余 金	19,755	16,751
<b>投 資 そ の 他 の 資 産</b>	3,434	2,431	自 己 株 式	△ 177	△ 173
投資有価証券	78	87	評 価 ・ 換 算 差 額 等	6	3
繰延税金資産	1,087	1,464	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	6	3
その他の投資	2,379	1,111	<b>純 資 産 合 計</b>	39,359	36,356
貸倒引当金	△ 110	△ 231	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	46,862	43,350
<b>資 産 合 計</b>	46,862	43,350			

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	(当 期)	(前 期)
2. 有形固定資産の減価償却累計額	11,880百万円	11,509百万円

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当 期 平成22年1月1日から 平成22年12月31日まで	前 期 平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで
売 上	高	28,175	29,172
売 上 原 価	価	12,004	11,941
売 上 総 利 益	益	16,171	17,230
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		10,888	10,556
営 業 利 益	益	5,282	6,674
営 業 外 収 益	益	232	200
受 取 利 息 及 び 配 当 金		41	34
不 動 産 賃 貸 収 入		26	25
そ の 他 の 営 業 外 収 益		164	140
営 業 外 費 用	用	141	146
点 検 契 約 解 約 損		14	12
ス ク ラ ッ プ 処 分 費		67	69
そ の 他 の 営 業 外 費 用		59	64
経 常 利 益	益	5,373	6,728
特 別 利 益	益	1	1
固 定 資 産 売 却 益		0	—
貸 倒 引 当 金 戻 入 益		0	1
特 別 損 失	失	97	7
固 定 資 産 除 却 損		78	2
固 定 資 産 売 却 損		5	2
投 資 有 価 証 券 評 価 損		13	—
貸 倒 引 当 金 繰 入 額		—	2
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	益	5,277	6,721
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		1,384	1,281
法 人 税 等 調 整 額		374	574
当 期 純 利 益	益	3,518	4,865

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

平成22年1月1日から  
平成22年12月31日まで

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等 その他有価証券 評 価 差 額 金	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計		
平成21年12月31日残高	9,907	9,867	16,751	△ 173	36,352	3	36,356
当連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 514		△ 514		△ 514
当期純利益			3,518		3,518		3,518
自己株式の取得				△ 3	△ 3		△ 3
株主資本以外の項目の当連結会計年度中の変動額(純額)						2	2
当連結会計年度中の変動額合計			3,004	△ 3	3,001	2	3,003
平成22年12月31日残高	9,907	9,867	19,755	△ 177	39,353	6	39,359

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当 期	前 期
		平成22年1月1日から 平成22年12月31日まで	平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		6,713	9,459
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 5,171	△ 907
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 516	△ 519
現金及び現金同等物の増減額		1,024	8,032
現金及び現金同等物の期首残高		23,548	15,515
現金及び現金同等物の期末残高		24,573	23,548

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ノンフロン断熱とインバータ制御で 地球に優しい製品を提供します

“冷”の技術が拓いてきた「食の安全」と「美味しさ」「快適」の追求。

より多くの場面で、より多くのプロフェッショナルのニーズに応えるために、日々進化をしております。

21世紀は経営効率を高める一方、「地球温暖化問題」「オゾン層保護」のステップを確実にし、次世代に豊かな文化と未来を継続するために、「トータル力」で提供しております。



### ノンフロンのシクロペントンを採用した環境に優しい冷蔵庫

当社は業界に先駆け、本体、扉の断熱材にシクロペントンを採用し廃棄製品の冷媒回収と合わせてノンフロン100%を目指します。

特に縦型冷蔵庫には業界初として2007年から採用しています。

今後さらに多くの製品に採用することで、地球環境を大切にする最良の業務用冷蔵庫・ショーケースをご提供します。

本体と扉に  
ノンフロン断熱採用  
(シクロペンタン)



ノン  
フロン  
断熱

## 2010～2011年の主な新製品



### インバータ制御冷凍冷蔵庫 エコ蔵くん



インバータ制御冷凍冷蔵庫 エコ蔵くんに  
新たなラインナップ【301(3)YS2-EC】。

また、組立式冷凍庫DAIBILもインバータ化を  
実現、用途に合わせてお選びいただけます。

### インバータ制御電子式鮮度保持冷蔵庫 鮮度くん



鮮度保持に定評がある鮮度くんが待望の  
インバータ化。省エネと静音性が向上し、  
ますます使いやすくなりました。



## インバータ制御薬用ショーケース **エコ蔵くん**



インバータ圧縮機の採用、ファンモータのDC化、インバータ蛍光灯の採用等で高い省エネを実現。

用途に応じ、標準・省エネ・パワーの三段階切替。静音性も向上しました。

## インバータ制御対面ショーケース



インバータ圧縮機の採用、ファンモータのDC化、LED照明の採用等で高い省エネを実現。

また、デザインを一新し、メンテナンス性も向上しました。

## ハッチタイプ食器洗浄機 **エコ洗くん**



すすぎ水量は業界トップの2L以下。優れた省エネ設計と使いやすさを実現しました。

ラックを出し入れしやすい開口寸法365mm。大皿やトレイも洗えます。

# 会社の概況

平成22年12月31日現在

商号	大和冷機工業株式会社
英文名称	DAIWA INDUSTRIES LTD.
資本金	9,907,039,049円
発行可能株式総数	84,000,000株
発行済株式総数	51,717,215株（自己株式314,848株を含む）
期末株主総数	4,156名
大阪本社	大阪市天王寺区小橋町3番13号 大和冷機上本町DRKビル
東京本社	東京都台東区台東2丁目4番3号 大和冷機秋葉原DRKビル
佐伯工場	大分県佐伯市大字長良3325番地6
福岡工場	福岡県太宰府市水城6丁目32番1号
関東大利根工場	埼玉県加須市豊野台1丁目345番地5
従業員数	1,773名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 冷凍・冷蔵庫、ショーケース、製氷機、自販機および冷熱応用製品の製造販売およびリース並びに点検修理</li><li>・ 冷熱機器の設備の工事および各種部品の製造販売並びに点検修理</li><li>・ 厨房機器、装置、部品の製造販売およびリース並びに点検修理</li><li>・ 店舗・厨房の企画、設計および施工</li></ul>
子会社	株式会社トーニチ

## 役員

平成23年3月30日現在

代表取締役会長……	尾崎茂
代表取締役社長……	尾崎敦史
常務取締役……	杉田壽宏
常務取締役……	小野文男
取締役……	三浦明
取締役……	工藤哲郎
常勤監査役……	大津加一治
監査役……	日下敏彦
監査役……	西久保博康

(注) 監査役 日下敏彦、西久保博康の両氏は、社外監査役であります。

## 執行役員

平成23年3月30日現在

社長執行役員……	尾崎敦史
常務執行役員……	杉田壽宏
常務執行役員……	小野文男
執行役員……	三浦明
執行役員……	工藤哲郎
執行役員……	河村明
執行役員……	尾崎雅広
執行役員……	江村祥一
執行役員……	那須元彰
執行役員……	平出和茂

## 株主メモ

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日

12月31日

中間配当金受領株主確定日

6月30日

定時株主總會

毎年3月

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

特別口座の口座管理機関連絡先

大阪市中央区伏見町3丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券

代行部

電話 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第1部

大阪証券取引所 市場第1部

公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.drk.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

# 信頼で結ばれたワイドなサービスネットワーク。

全国をサービス・メンテナンス・最新情報の高感度アンテナとしてネットワーク。よりきめ細かく、スピーディに対応します。



大阪本社



東京本社



福岡工場



佐伯工場



関東大利根工場